

幸 齢 者 のための

いぬやま つどいのばMAP

犬山市生活支援コーディネーター認定



「つどいのば」とは

近所に住む人や同じ趣味を持つ人同士が集まって、気軽におしゃべりをしたり、体操や運動、趣味の活動ができる場所のことで、地域の高齢者が毎日を安心して楽しく過ごすための交流の場です。

犬山市では生活支援コーディネーターが市内5地域ごと（犬山北、犬山南、城東、羽黒池野、楽田）に「つどいのばMAP」を作成しています。ぜひご活用ください。

（お住いの地域の高齢者あんしん相談センターまで）

● 散歩同好会



参加者の男性は「85歳だけど、皆勤賞だよ！歩けるうちは頑張るわ」と。本郷から参加の女性は「友人から聞いて参加してます。健康第一だからね」と仰っていました。



● ひなたぼっこ



サロン等の開催が難しいので、「日向ぼっこ」をしながら外でお話をされていました。これも **立派なつどいの場** です！



ホームページもご覧ください

発行事務局

発行者： 犬山市生活支援コーディネーター（犬山市委託事業）
住所： 犬山市字若宮68番地4
電話： 090-6585-6088
メール： kawamura03@road.ocn.ne.jp

犬山市生活支援コーディネーター だより



創刊号
2021.秋



手と手とてとと



- 西楽田団地 ささえ愛の会
- 古今東西 きょうぎたい
- なぜいま【ささえあい】が必要なのか
- つどいの場マップ
- 協議体って？
- コロナ禍でもできる ささえあい

西楽田団地 ささえ愛の会



西楽田団地では、2019年6月から「ささえ愛の会」が活動しています。

高齢化が進む団地内で「自分ができる事」でご近所同士が支え合える関係作りを進めたいと、

- ・庭木の手入れ、草取り
- ・蛍光灯の交換、家具の移動
- ・ゴミ出し 等…

などのサポートを実施しています。

高齢のお一人暮らしや、夫婦のみの世帯など、安心して生活ができる「つながり」になっています！

Q. 活動の内容や、やりがいや楽しさはどんな点でしょうか？



ささえ愛の会 役員の皆さん

A. 草刈りや買い物同行など、お一人暮らしや高齢者世帯の方の依頼が多いです。

作業が終わったあとの「ありがとう！」の言葉で、こちらも嬉しくなり、やりがいになっています！

今後も支える側、支えられる側がお互いに尊重し合い、活動が継続していくと良いと思います。



犬山市生活支援体制整備事業では、高齢になり、ひとり暮らしになっても、認知症や介護が必要になっても『住み慣れた自宅・地域で』暮らし続けられる地域づくり（地域包括ケアシステム）を進めています！

なぜいま【ささえあい】が必要なのか？

厚生労働省は、一人暮らしになっても、認知症や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で、住み慣れた自宅で、生活し続けるための仕組み『地域包括ケアシステム』づくりを進めています。

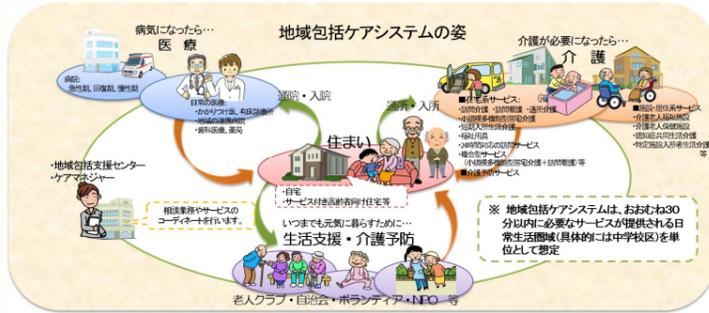
犬山市でも近年、高齢化率、一人暮らし世帯、介護認定者数が増加し続けています。

少子高齢化、人口減少が進む中で、公的なサービスや制度だけでは、個々の生活ニーズに対応することが困難になると予想されます。そこで今後は、地域の中で、高齢者の生活をささえる方法が必要になっています。

例えば、買い物やゴミ出し、日々の安否の確認などの困りごとは、地域のちょっとした気づきやアイデアで解決できるかもしれません。お金のかかることや、特別な資格が必要なこと、大きなリスクや負担がかかることではなく、住民同士のささえあい活動や、既存の団体や企業、商店の協力などがあれば、困りごとを解決して、安心して暮らし続けられる地域を作ることができます。



出典：厚生労働省HPより



古今東西 きょうぎたい

犬山市内 各地の協議体での話題や取り組みの状況をお伝えします！

『新鮮な地域情報が集まり、
あたらしいアイデアが生まれる』

犬山北



犬山北地区協議体では、以前から支え合い活動の立上げについて検討を続けていましたが、今回は西楽田団地にお邪魔して、ささえ愛の会の皆さんにお話を聞く事ができました。ささえ愛の会立ち上げの経緯や、活動内容、運営方法など具体的な話を惜しみなく教えて下さいました。北地区の今後の活動に活かせるようなヒントをたくさんいただきました。

感染対応に注意しながら、協議体を開催しました。地域の情報交換をしました。子ども110番が新聞に掲載されたそうです。サロン等で時々開催される、企業の講座などを一度聞いてみたいとの話もあり、今後、協議体でも勉強や講座の機会を作っていく予定です。新型コロナウイルスの影響から約1年が経ちました。動きづらい世の中が続きますが、皆さんで乗り越えていけたらと思います。

犬山南



城東



緊急事態宣言中ですが、3密を守り宗栄寺で開催しました。今日のテーマは「緊急事態宣言、コロナ禍により協議体が停滞している。今後の協議体の在り方について」皆さんと協議しました。協議体メンバー内でZOOMやLINEなどを使用してはどうか。各施設へ赴き施設の活動を情報共有してはどうか。各地区へ赴き散歩しながらの協議をしてはどうかなど様々なご意見が飛び交いました。

今回の協議体では局地的な大雨が降り続いて、犬山市内でも各地域に避難指示や土砂災害警戒警報が出された事もあり、防災についての話題が出ました。災害はいつ起きるかわからないので、住民同士が繋がって協力して助け合わなければならない。コロナだから、何もかも全部中止にしてしまうのではなく、やり方を工夫してやっていかなければいけないのではないか。こんな世の中だからこそ、住民同士の繋がりは大切だと思いと意見交換しました。

羽黒・池野



楽田



これまで対面式で行っていた協議体をオンラインで開催しました。しっかりメンバーさんの顔を見ながら地域情報を聞くことができ「オンライン協議体」を体験することができました。今回は「楽田のまちで打ち上げ花火」や「散歩サークル」の活動状況などの地域情報を聞くことができました。コロナだから全部やめる！ではなく、こんな状況の中で、どうやったら住民同士がつながるのかな・・・を考えていきたいです。

各地区の協議体に参加してみませんか？
地元の話や、地域の困りごと解決のためのアイデア出しなど、気軽に話し合える雰囲気です！
開催日時などは、お気軽にお問い合わせください。

協議体って？

地域包括ケアシステムの構築をめざす「生活支援体制整備事業」を進めるために「協議体」と、「生活支援コーディネーター」という推進役が作られました。「協議体」は犬山市内の生活圏域（概ね中学校区）ごとに5か所あります。

協議体は「協議会」ではありません。そのため会長や副会長、書記などの役職はなく、組織では無いため上下関係もありません。横並びの風通しがよい集まりです。

かしこまった会議ではなく、イメージとしては座談会や茶話会のように、参加者が話題を持ち寄り、ワイワイガヤガヤと話し合う場です。

- ①地域の情報を持ち寄る。その中から『地域のちょっとした困りごと』を見つけ出す。
- ②地域のちょっとした困りごとの解決に向けたアイデアを出しあう。
- ③アイデア実現を手伝っていただけそうな人や団体（担い手）につなげる。

楽しく参加することが協議体のミッションです！
アイデア次第で、安心して暮らしやすい地域づくりが進んでいきます。



ぜひ、お住まいの地域の協議体にご参加いただき、アイデアを出し合ってください！